

## 聖籠中学校通学バス運行業務委託（蓮野学区その１） 仕様書

### 1 業務委託内容

運行計画に基づき、聖籠中学校の生徒が登校及び下校に必要とする通学用貸切バスを運行する。

### 2 運行期間

令和7年12月1日～令和8年2月28日

### 3 運行日

聖籠中学校の登校日（日程及び下校の配車時刻は別紙のとおり）

### 4 運行計画

別紙「運行計画」のとおりとする。

ただし、運行経路の距離及び、時間については目安であり、詳細については契約締結後に、委託者と受託者が協議して定めるものとする。

※・下校については1便で一斉下校の場合と早便・遅便の2便の場合あり。

・円滑な運行の都合上、若干位置が変更になる乗降場所あり。

・表中で0名の乗降場所は停車しない。また、通行しなくてもよい。

### 5 条件

(1) 一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けていること。

(2) 運行に当たっては、関係法令を順守し、安全を確保すること。

(3) バスの種類は、運行計画に基づき運行が可能なバス2台（大型バス）とし、車両（他社保有も可とする）は全て受注者が用意し、管理する。通常運行するバスが故障等で運行できない場合は、運行計画に支障のないよう、代替車両により運行すること。

(4) 天災や受注者に過失のない第三者による事故を除いた運行中の事故について、これによって生じた損害を賠償すること。

(5) 事故時緊急時における連絡体制、事故処理体制及び責任者を明確にしておくこと。

(6) 万が一事故が発生した場合は、直ちに関係機関（警察・消防等）に緊急連絡をするとともに、発注者及び当該学校へ報告するものとし、受注者の責において処理すること。

(7) 使用するバスについては、以下の任意保険に必ず加入すること。

対人賠償保険、対物賠償保険、車両保険、人身・搭乗者  
傷害保険

※対人賠償保険、対物賠償保険については限度額を無制限とすること。

また、加入予定の保険内容について確認できる書類を契約時に発注者へ提出すること。

(8) 使用するバスに、運行するルート等を表示すること。

- (9) 運行日までに停留所及び運行経路を確認し、実際の運行車両で試走を実施すること。  
なお、その場合の経費については受注者の負担とする。
- (10) 学校の都合による登下校の時間の変更に対応すること。
- (11) 生徒の乗降場所は、原則、町エコミニバスの停留所とし、運行の都合上停留所以外  
の場所に停車する場合は別途指示する。
- (12) 生徒が携帯する乗車証をバス等乗降時に確認すること。
- (13) 下校時の乗車については、町が指定する乗車場所で行うこと。

## 6 委託料の支払

受注者は、毎月の業務終了後、業務委託一部履行届とともに運行状況報告書（運行日、乗車人数及び運行回数等を記録した書類（任意様式））を翌月10日までに発注者へ提出し、発注者の検査を経た後、請求書を提出する。発注者は受理したその日から起算して15日以内に受注者に委託料を支払うものとする。

## 7 その他

- ・ 運行期間終了後、本業務委託に係る履行届等の書類について令和8年3月17日までに町へ提出すること。
- ・ その他仕様書に記載されていない事項は、別途協議する。

## 8 積算についての計算条件等

- ・ 時間制運賃及びキロ制運賃の計算については、令和5年8月25日付国土交通省通知の「一般貸切旅客自動車運送事業によりスクールバス運送を行う場合における運賃及び料金について」に基づいて計算するものとする。
- ・ 運行時間、運行距離は別紙「運行計画」の運行時間及び運行距離に、車庫から各出発地まで、又は各終点地から車庫までの運行時間、運行距離を加算したものとする。
- ・ 登校時の帰庫後から下校時の出庫までの時間は計算には入れない。

(上記通知より抜粋)

- ・ 時間制運賃の計算は、出庫前帰庫後の点呼点検時間の2時間+実際の走行時間（回送時間を含む）で計算すること。
- ・ 合計が3時間未満の場合は走行時間を3時間で計算すること。（点呼点検時間を加えると、最低で5時間になる）
- ・ 走行時間を合算した端数については、30分未満は切り捨て、30分以上は1時間に切り上げること。
- ・ 走行距離を合算した端数については、累計した距離に10キロ未満は10キロに切り上げること。

(下校が早便と遅便の日の時間制運賃の計算について)

- ・ 早便の運行終了後、遅便の配車時間までは中学校で待機するものとして計算すること。

以下に計算の考え方を示す。

$$\text{①時間制運賃} \quad \underline{\hspace{1cm}} \text{円} \times \underline{\hspace{1cm}} \text{H} (\text{点呼点検 } 2\text{H} + \text{登下校走行時間}) \\ = \underline{\hspace{1cm}} \text{円}$$

※1日の中で走行時間を合算した端数について、30 分未満は切り捨て、30 分以上は 1 時間に切り上げる。

※走行時間は 3 時間未満の場合は、3 時間とする。

$$\text{②キロ制運賃} \quad \underline{\hspace{1cm}} \text{円} \times \underline{\hspace{1cm}} \text{km} = \underline{\hspace{1cm}} \text{円}$$

※1日の中で走行距離を合算した距離に 10 キロ未満は 10 キロに切り上げる。

### 1. 登校+下校が一斉下校の場合の走行時間の計算

<登校>

・車庫から登校時の始発乗車場所までの走行時間        分  
+ 配車してから待機時間+登校ルート走行時間        分(運行計画記載)  
+ 中学校から車庫までの走行時間        分

<下校>

・車庫から中学校までの走行時間        分  
+ 配車してから待機時間+下校ルート走行時間(中学校～終点まで)        分(運行計画記載)  
+ 終点から車庫までの走行時間        分

### 2. 登校+下校が早便・遅便の場合の走行時間の計算

<登校>

・車庫から登校時の始発乗車場所までの時間        分  
+ 配車してからの待機時間+登校ルート走行時間        分(運行計画記載)  
+ 中学校から車庫までの走行時間        分

<下校>

・車庫から中学校までの走行時間        分  
+ 配車してから待機時間+下校ルート走行時間(早便出発～中学校で待機～遅便の終点まで)  
       分(運行計画記載)  
+ 遅便終点から車庫までの走行時間        分

※1、2 の場合とも、配車してから待機時間+走行時間は運行計画に記載のとおりとする。

登校のみのバスがある場合は、上記の計算を登校についてのみ計算する。